

指定管理者による公の施設の管理状況評価(令和6年度分)

施設	名称	栃木市老人福祉センター 福寿園
	所在地	栃木市千塚町210
	施設内容	老人福祉センター
指定管理者	名称	社会福祉法人 栃木市社会福祉協議会
	所在地	栃木市今泉町2-1-40
	主な業務内容	地域福祉推進事業、介護保険事業、障害者総合支援法に基づく事業

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	利用案内揭示数		4か所	4か所			
	アンケート数		120人	150人			
	利用者満足度		80%	87%			
	参加者満足度		80%	98%			
評価	意見反映数		3件	4件			
	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
25	Ⅱ	0.8	20	I	1.0	25	
指定管理者コメント	①11項目の管理運営指針を事務所に掲示し、職員の共通理解を深め、指針に基づいた管理運営が行われる心がけました。						
	②栃木市老人福祉センター条例を遵守し、3園共通の回数券、障がい者、要介護認定者等には共通の減免カードを発行するとともに、常に公正公平な態度で接遇を行うよう職員一同心がけました。 また、正面玄関等に開館時間や休館日の案内を大きく見やすく掲示し、利用者の立場に立ち、安全に安心して利用できるように施設運営を行いました。さらに、ふれあいバスや蔵タクに関する情報提供を丁寧に行い、利便性の向上を図りました。						
	③アンケートの結果では、利用者の満足度は高く「非常に満足」「満足」が87%となりました。利用者の方からは、「職員がとてもよい」「大変満足しています。がんばってください」などの温かいほ意見をいただきました。 また、「脱衣室に髪の毛が落ちているので掃除用具を準備してほしい」とのご意見に対して、速やかに脱衣室に掃除用具を設置しました。						
	④館内に意見箱を設置して利用者の意見を募りましたが、苦情は1件もありませんでした。 今後の課題として、常連の利用者だけでなく新規利用者が来園するにはどうしたらよいか、職員共通認識として、魅力ある教室や講座、イベント内容を検討していこうと考えています。						
施設所管課コメント	ふれあいバスの案内や蔵タクの情報提供なども行い、利用者目線で丁寧に対応していることが窺える。施設の利用者満足度が87%、講座等への参加者満足度が98%と高い数値を示している。						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等(広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等)による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	R6年度利用者数		14,425人		14,261人		
	記事の掲載回数		5回		12回		
	利用者増かにつながる新規事業		4回		10回		
	協働事業数		5回		11回		
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	①「広く市民が利用する公の施設」「市民から支えられている公共性の高い団体」であることを意識しながら業務に専念しました。身体の不自由な方には、移動する際の車いすやシルバーカー、歩行器の貸出しを行い、転倒リスク軽減を図り市の福祉向上に寄与しました。本会の特性を活かし、福祉介護相談を随時行い、家族や包括支援センター、関係機関と連携を図りました。						
	②施設を市民に知ってもらうために、市広報誌や本会ふくびーだよりに各種講習会やイベント、本会ホームページに開園カレンダーを掲載しました。また、受付等に施設のパンフレットを置き、周知を図りました。						
	③利用者の利便性を高めるために、開館時間、入浴時間の延長を継続しました。休館日となっていた12月29日～31日までについても継続開館をしました。 回数券購入者へのサービスとして、回数券11枚綴りを5札で、1日無料とするサービスを継続して実施し、好評を得ました。また、回数券を入れるケースを手作りし、無料で利用者の方に配布しています。 県民の日や敬老の日は無料開放を行い、多くの方に利用してもらい好評でした。1月4日には、新春くじ引きを行い、利用者を増やす努力をしました。蔵タクへ、3園(福寿園、長寿園、泉寿園)の開園カレンダーを送付し、利用者の利便性を高めました。						
	④吹上地区包括支援センターと協力し、元気アップ教室を行い、市民の健康増進を図りました。吹上地区まちづくり協議会の委員として、花いっぱい運動に協力し、パンジーの花植えや除草作業の手伝いをしました。 こどもの居場所の児童に、センターのお風呂を利用してもらい、世代間交流を図りました。また、児童が利用者に積極的に挨拶することで、顔見知りの関係になりました。認知症の方、家族、地域住民等が誰でも自由に参加できる集いの場「おれんじ喫茶ふくじゅ」を継続して開催しています。						
施設所管課コメント	利用者数は、目標に若干満たないものの前年比では108%と増加している。地域との交流も積極的に行い、社会福祉相談も開催することができ、関係機関との連携を図っていた。年度末に開催した新規イベントには多くの参加者が来園した。地域共生社会の実現を図る中で、施設としてできるものを進めてくれている。						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	経費削減額		607,900円	974,933円			
	経費削減率		10%	19%			
	競争入札実施件数		15件	15件			
	燃料費見積もり合わせの回数		12回	12回			
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅱ	0.8	12	I	1.0	15
指定管理者コメント	①指定管理料の収支手続き適正に行い、不正がないようにしました。毎月市に運営状況報告書を作成し、施設点検定期的に行い、運営状況はない月、点検報告書は四半期ごとに市へ報告しました。 何か実施する際は園長会議で検討したり、市や長寿園や泉寿園と相談し連携を図りました。						
	②館内に節電や節水の張り紙をして、周知徹底を図り、利用者にも協力をしていただきました。両面コピーやミスコピーの裏面は積極的に使い、また、再生紙を購入するなど環境に配慮しました。使っていない部屋の電気をこまめに消す、終了時はトイレの便座を消すなどして、電気代の抑制に努めました。						
	③経理規定に基づき保守点検項目15の業務について、複数の業者から見積書を徴し十分に必要性を吟味したうえで経費削減に努めました。また、故障やトラブルがあった際には迅速に委託業者へ連絡して、利用者が帰った後や定休日に修繕を行い、危険や不便がないように対応しました。 A重油業者の見積もり合わせを毎月行い、安価な価格を提示した業者から購入しました。						
	④書類の処分について、個人情報の部分を切り取り、シュレッダーをかけ、その他は再生紙のゴミとして分別しました。ゴミの分別は適切に行い、清掃用の消耗品等は大容量の物を購入することで、購入費の削減につなげました。継続して浴槽へのお湯はりの際には保温シートを使い、沸き上がりをよくして冷めにくくしたことから、燃料費の抑制につなげました。						
施設所管課コメント	事務経費の削減に関しては前年度マイナスを計上したが、物価上昇で厳しい経営環境の中で十分な削減ができた。園長会議を通しての園長の発言等を聞いていると、削減には十分取り組んでいると理解できる。その他の項目に関しても適切に行っていた。						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み							
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③	職員の福利厚生は充実しているか					
	④	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
	⑤	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか。					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	園長会議に参加しての改善数		3件		3件		
	人員配置数		4人		4人		
	研修会開催		7回		7回		
	勤務時間数(1人当たり)		38.75時間/週		38.75時間/週		
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅲ	0.6	12
指定管理者コメント	<p>①施設を管理する者は、防火管理者・社会福祉主事・介護支援専門員等の資格を有する者を配置し、施設全体の把握に努め、安全管理を徹底しました。管理運営体制に定められた人員4名を配置し、本会就業規程を遵守し、業務を忠実に遂行しました。</p> <p>②長寿園及びこどもの居場所の職員と合同研修として、普通救命講習会を実施し、緊急時に備えました。吹上地区認知症サポーターステップアップ講座に職員だけでなく、おれんじ喫茶ふくじゅのボランティア1名も参加し、「地域で支え合う認知症について」の講座、「おれんじ喫茶の活動を考える」ための、参加者同士意見交換をしました。</p> <p>③職員には希望する休暇(公休、有給、夏季休暇)を取れるような体制を整えました。法定福利厚生及び通勤手当等の法定外福利厚生を導入し、働きやすい職場環境にしました。</p> <p>④本会の財政状況等は多少の減少はありますが健全であると思われれます。</p> <p>⑤各種税金や社会保険料は適切に納め、納税の義務を果たしました。</p>						
	<p>救命講習会に関しては、長寿園・こどもの居場所と合同で開催するなど、連携を図り進めていることは評価できる。また、認知症への理解促進のための研修も新たに行う等積極的である。施設の管理に関しても適切に行っている。</p>						
施設所管課コメント							

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	① 日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	② 緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	④ 具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理 指標 状況 評価	指標名		計画値		実績値		
	定期安全点検実施件数		12回		12回		
	消防訓練実施件回数		2回		2回		
	個人情報保護講習会の実施		1回		1回		
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅲ	0.6	12
指定 管理者 コメント	<p>① 毎日の点検の他、自己点検チェックシートに沿って毎月点検し、必要に応じて報告するとともに、四半期ごとに施設点検報告書を提出し、状況把握に努めました。施設の管理瑕疵に係る損害賠償保険に加入し、不測の事態に備えました。また、休館日や夜間など職員不在時の警備は業者に委託して対応しました。</p> <p>② 緊急時の対応方法を定めた危機管理マニュアルを作成し、全職員に周知徹底を図りました。 ・また、利用者の同意を得た上で、緊急連絡先台帳を作成し、体調不良や救急搬送の際に親族と連絡が取れるように体制を整えました。</p> <p>② 消防設備については業者に委託し、2回/年の点検を実施しました。 デイサービス福寿園職員、利用者、こどもの居場所職員、児童、清掃業者(シルバー人材センター)会員と合同で避難訓練を2回/年実施しました。 避難経路や避難の手順について確認し、水消火器による消火訓練等も実施して安全対策を講じました。職員については、役割を変え、誰もが火災の際に対応できるよう確認をしました。</p> <p>③ 職員間で会話をするときは、常に利用者があることを意識して、個人情報が漏れることのないように心掛けました。</p>						
	施設 所管課 コメント	BCP計画に基づいた訓練を実施している。また、個人情報の管理に関しても適切に行っている。					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	20	25	
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	16	16	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	15	
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	12	12	
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	12	12	
評価点合計	100	72	80	
総合評価		B (良)	A (優)	

第3次評価(選定委員会評価)	
選定委員会コメント	

(4)施設の管理を安定して行うための取組み

◀ 別紙 ▶

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3か年の情報を記入してください。

決算年次	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期
資産総額	1,983,652,461	1,965,766,261	1,962,114,735
売上高	825,285,169	807,520,501	804,065,009
経常利益	△ 82,602,966	△ 78,435,421	△ 6,688,293
当期利益	39,099,727	△ 78,285,914	72,810,722
経常収支比率	90.9%	91.2%	92.3%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期
経常費用	910,352,088	888,350,143	872,437,597
経常収益	827,749,122	809,914,722	805,549,304
経常収支比率	90.90%	91.20%	92.30%

○経常収益(営業収益+営業外収益)÷経常費用(営業費用+営業外費用)×100で求めます。

指定管理者コメント

--